

## 資料3-1

厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業  
「高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究」  
高齢者がん医療協議会（コンソーシアム）設立会議  
議事録

日 時：2019年1月19日（土）13時30分～16時30分  
会 場：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター カンファレンスルーム 12D  
東京都中央区八重洲 1-8-16 新槇町ビル

研究代表の司会で高齢者がん医療協議会（コンソーシアム）（以下、協議会）設立会議が議事次第にのっとり開始した。

1. 栗本景介課長補佐（厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 健康課）より、第3期がん対策推進計画に基づき厚生労働科学研究費補助金がん対策推進総合研究事業による高齢者がん診療指針整備事業を公募するにいたった経緯について説明があった。
2. 本研究の概要とこれまでの取り組みについて資料に基づき研究代表より説明があった。
3. 本研究を運営するにあたって核となる協議会の運営規定・細則（資料）を確認した。
  - ・協議会議長を研究代表、副議長を本研究の長島小班代表とする。
  - ・協議会委員ならびに委員の所属するがん関連団体の役割・業務内容を確認した。
  - ・本協議会を運営するにあたって運営委員会を設置する。議長が資料に基づき、5人の運営委員を推薦し、了承を得た。この委員は全員 geriatric oncologist で腫瘍内科医である。本研究事業が臓器・職種横断的であることから外科、放射線治療、薬学系、看護学系、その他の専門領域の運営委員が参画することが必要である。協議会委員に推薦依頼があった。
4. 長島副議長より「高齢者がん医療の現状と課題」について講演があり、長島小班のこれまでの取り組みと今後の計画について説明があった。
5. 長島副議長の司会のもと協議会委員による各学会・団体の高齢者がん医療に関する考え方・取り組みの紹介があり、活発な議論がなされた（別紙2）。
6. 今後の活動方針を資料に基づき、議長より説明があった。2018年度の事業として予定されている2月16日、3月16日開催予定の「高齢者のがん医療を考える会議」について協議会委員の積極的な参加が呼びかけられた。

研究代表 田村 和夫 記載